



キャリア通信

夢をはぐくむキャリア教育



～ 大好きな自分 なりたい自分 みんなと生きる自分 ～

平成 26 年 9 月 19 日 No. 9

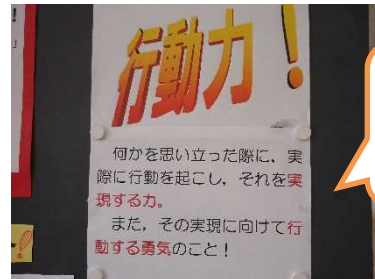
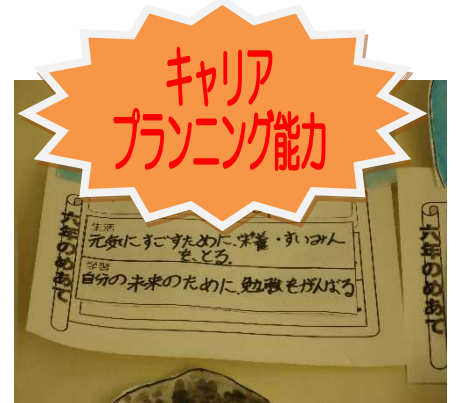
★ なりたい自分に向けて

6年生

個人のめあて・学級のめあて

6年生は学年で統一した書き方で2学期のめあてを立てさせています。子どもたちのめあての中には、苦手な教科の克服や、低学年へのかかわりから高学年としての自覚を意識したものなど、目の前の課題に対応するめあてを立てている子が多くいました。そして、1学期からステップアップした子どもたちの姿として、少し先の自分や将来を意識しためあてを立てている子もいました。頑張ることが少し恥ずかしい・・・、夢を語ることが格好悪い・・・と感じたり始めるこの時期に、夢の実現をめあてとして掲げられる子どもは、素晴らしいです。

また、6年生のどの学級も学級のめあてとして、『行動力』を挙げていました。夢をもつことのはたらきかけと併せて、実現に向けた意識をもたせることは、確かな夢の実現に向けて動き出せる子を育てていると言えます。あと、半年で中学校へ送り出す6年生の先生方の思いが見えます。



6年1組
鈴木学級の
小黑板!!

バス学習から見た「仕事」

自動車の解体業の会社だと思って見学していた『エルバ北海道』さん。車好きな男の子たちが、目をキラキラさせながら、見学したり質問したりしていました。「車が好きな人が、働いているのですか。」という質問に、「もちろん、車が好きな人はたくさん来ますが、リサイクルが大切だと思っている人に働いてもらいたいと思って雇っています。」という答えが返ってきました。資源を大切に仕事の仕事として、リサイクル率100%を目指していると話されていました。

また、『十勝毎日新聞社本社ビル』の見学では、テレビ、ラジオ新聞などを媒体として情報を提供する仕事について知りました。視聴者購読者を意識した情報提供の仕方を工夫することに努力していることを教えてもらいました。人に役立つ、みんなのためになることが「仕事」なのだと学んだ5年生です。



★ 中学年は「みんなで生きる自分」
★ 低学年は「大好きな自分」がテーマです!

Stepup・ほのほの学級

特別支援学級

～知的・肢体不自由児学級～

キャリア
プランニング能力

特別支援部会では、キャリア教育を中心に据えた研究に取り組んでいます。特に、Stepup（知的）学級、ほのほの（肢体不自由児）学級の2学級が、農業高校との体験交流学习を中心に発達段階に合わせたキャリア発達を促す活動を行っています。

農業高校の牛舎前にて！
牛の鳴き声や独特なおい、高校生の作業着姿からも、体験学習へのわくわくした気持ちが膨らみます。



第1回目の交流学习の様子です。本校に、農業高校の生徒さんたちが来てくれました。

あたたかい雰囲気でも、子どもたちと向き合ってくれて、子どもたちの質問に対し、実演しながら、答えてくれました。

実演してくれたのは、牛の搾乳の様子です。とてもユニークです。

お腹に赤ちゃんがいるお母さん牛のお腹をなでなで！



高校生の一人に、なぜ農業高校に進んだのか尋ねると、美味しいチーズを作りたいという夢をもっているから!!とキラキラした目で話してくれました。

交流体験学習を終えた子どもの中には、農業高校に進みたいという希望をもつ子もいたそうです。少し先の自分を思い描くことができる活動になったと共に、学習の目的をもつことができました。これからの活動も楽しみです。



自作の資料を用意をしてくれて丁寧に説明してくれるお姉さん。



牛に干し草をあげたり、ブラッシングをしたり、お世話も体験できました。



初めての搾乳体験！牛のおっぱいはあたたかい！絞った牛乳もあたたかい！